

著者別目次一覧（五十音順）『盛岡大学紀要』第1号～第22号・『多様な文学部の世界』

【あ】

- 安 酸 敏 眞 エルンスト・トレルチと現代の思想的境位（第8号）53～64
 歴史の真理と理性の真理－レッシングの命題について－（第9号）89～98
 バルトのレッシング解釈（第10号）123～134
 トレルチのGlaubenslehre研究－再評価のための試論－（第12号）151～162
- 飯 島 隆 バッハの音楽と礼拝について（第2号）79～88
 J. S. Bachと敬虔主義について（第4号）73～80
 ヨハネ受難曲バッハノート（第6号）133～140
 バッハノート－カロフの聖書－（第8号）43～52
 バッハノート－カロフの聖書（Ⅱ）－（第9号）77～88
 バッハと神秘主義（第12号）79～94
 新しい音楽教育，提言と実践 その1－オルフの音楽教育を視点として－（第15号）155～164
 新しい音楽教育，提言と実践 その2－オルフの音楽教育を視点として－（第16号）65～76
- 池 田 賢 一 フランスにおける移民子弟教育政策の評価視点の設定について
 －コミュニケーション風土の整備に着目して－（第10号）89～98
 フランスの小・中学校における外国人子弟受け入れの現状と問題点（第14号）113～122
 現代フランスにおける外国人の統合問題と学校教育の課題（第15号）165～172
- 石井 仁・大野 恵子 国語科の授業改善について（Ⅰ）－文学教材の授業の分析から（その1）－（第10号）99～108
- 石ヶ森 幸 一 An Introduction to Connections（第10号）55～68
 Connection Theory（第11号）15～26
 An Introduction to Yang-Mills Connection（第12号）103～116
 An Outline of Characteristic Classes（第13号）57～68
 A Preparation for Algebraic Geometry（第14号）85～102
 "A Preparation for Algebraic Geometry（2）Normal Algebraic Varieties and Divisors"
 （第15号）173～182
 "A Preparation for Algebraic Geometry（3）Projective Schemes and Cohomology of Sheaves"
 （第16号）51～64
 "A Preparation for Algebraic Geometry（4）－Differential Forms－"（第17号）61～70
 A Preparation for Algebraic Geometry（5）：
 General theory on algebraic curves and cohomology of projective schemes（第18号）121～
 Intersection Theory（第19号）29～34
- 板 垣 信 哉 A Test of Cognitive Strategies in Vocabulary Learning Using a Miniature Linguistic System
 （第8号）21～30
- 板垣 信哉・下河原 憲治 A Quantitative Study of English and Japanese Animacy Constraints on Grammatical Subjects
 （第5号）157～
- 市 原 常 明 保育管理下における幼児の災害発生について（第一報）（第5号）93～102
 保育管理下における幼児の災害発生について（第二報）（第7号）167～181

- 犬塚 博彦 言語を研究するということ (1)
 - 高津春繁著『言語学概論』におけるテキスト分析を通して - (第16号) 11~18
 音韻理論における最近の動向調査とその報告 (1)
 - 1997年~1998年を中心として - (第19号) 21~28
- 岩崎 攝子 チャンブレン著『日本口語文典』の談話語
 - 応用篇に扱われた「読本」の一考察 - (第14号) 151~172
 チャンブレン著『日本口語文典』の談話語
 - ローマ字訳『牡丹燈籠』にみる談話語 本文対照研究 その2 - (第15号) 125~144
 賢治作品にみるオノマトペ『銀河鉄道の夜』を中心に - (第16号) 97~118
- 上木 永生 韓退之の立場 (第7号) 182~195
 中国に於ける早魃洪水と漢民族 (第8号) 122~139
 詞の生成過程についての一考察 (第9号) 157~
 詞の生成過程についての一考察 (第10号) 171~180
 詞の生成過程についての一考察 (第11号) 147~173
 詞になるための絶句の形式変化に対する一考察 (第12号) 231~253
 填詞法の成立についての一考察 (第13号) 195~200
 中国民族思想及びその生活 - 儒教交渉史研究序論〈1〉 (第14号) 143~150
- 梅本 信章 対人魅力の決定要因としての態度の類似性とSelf-Esteem (第6号) 105~114
 友人関係期待と現実の友人 (第7号) 71~80
 青年期における友人関係の機能について (第9号) 47~56
 大学新入生の適応について
 - 自己の大学生活に対するイメージと友人関係との関連 - (第11号) 27~38
 大学入学直後の友人関係と不安に関する一研究 (第15号) 183~190
- 梅本 信章・市原 常明・石井 仁
 幼稚園教育実習と幼児イメージの変化についての一研究 (第20号) 47~58
- 江中 八郎 The Use of English as a Medium of Instruction in Philippine Schools (第12号) 47~70
 英語対照で学ぶやさしいタガログ語 入門 (第13号) 37~46
 American-English on Philippine Radio and Television (第17号) 45~60
- 遠藤 喜美子 アジアの音楽に対する学生の反応の分析的考察
 - 音楽教育の基礎的理解を求めて - (第6号) 115~132
- 大石 裕子 体操における大ジャンプの研究 (第6号) 51~62
 体操における自然性の概念について - Dietrich Schwidderの考察から - (第8号) 111~121
 Mrs.Dallowayにおける時間の形態と操作 (第6号) 87~96
 Orlando: 'Flying Daphne' (第7号) 7~16
 Shakespeareの白と黒の変容
 - F.Yatesのルネッサンス思想史に基づく - 一試論 - (第8号) 7~20
- 大上 治子 シェイクスピアの愛の伝統 - Othello Cymbelineを中心に - (第9号) 7~18
 The Tempestと新世界 - プロスペローのPowerとその限界 - (第12号) 21~30
 ヴェニスの異人たち - ユダヤ人Shylockとムーア人Othello - (第15号) 93~104
 西欧の他者 - ユダヤ人Shylockとムーア人Othello - (第16号) 19~28
 魔女狩りとMacbeth (第18号) 75~86
 The Tempestにおける仮面劇と音楽の役割 (第22号) 69~82

- 大久保 英 哲 明治期岩手県における近代学校体育の受容過程に関する研究（その1）（第6号）37～50
明治期岩手県における近代小学校体育の受容過程に関する研究（その3）（第7号）153～166
- 大 西 博 水ストレスに生きる酵母の知恵（第15号）37～46
- 大 平 栄 子 呪われた魂の反抗－「嵐が丘」試論－（第8号）75～84
「天使も踏むを恐れるところ」－主題構成と問題点－（第9号）109～120
- 荻 原 卓 也 大正期の洋画と萬鉄五郎（第11号）39～56
- 音喜多 忠 The Japanese Tough－Construction（第7号）27～44
Raising Construction in the History of Generative Grammar（第8号）31～42
Conditions on Reconstruction（第9号）35～46
- 小野寺 明 男 自由保育と自由遊び（第3号）57～64
幼児教育者の望ましい資質（第1号）55～68
Tess of the d'Urdervillesに於けるImmanent Will（第4号）9～16
- 【か】
- Kari J. Kostiainen An Indigenous Perspective on a Period in the History of North America（第22号）123～130
- 角 谷 晋 次 内村鑑三におけるキリスト教教育（第5号）47～60
新渡戸稲造におけるキリスト教信仰（第6号）1～14
内村鑑三における武士道とキリスト教（第7号）91～100
ペンシルヴェニア州におけるフレンド派（第10号）109～122
キリスト教大学論（第13号）133～138
新渡戸稲造における「修養」（第15号）27～36
聖書の地・イスラエルの地誌（第16号）1～10
キリスト教大学における礼拝の神学的考察（第17号）1～10
パウロにおける喜び、祈り、及び感謝について～テサロニケの信徒への第一の手紙 5：16-18～（第18号）1～12
- 梶 塚 隆 光 就学前の自閉児の治療経過について：言葉と遊びを中心として（1）（第1号）107～122
就学前の自閉児の治療経過について：言葉と遊びを中心として（2）（第2号）53～66
- 梶塚 隆光・菅原 憲 高校生のロールシャッハ反応について（第5号）15～28
高校生のロールシャッハ・テストの反応内容（第7号）57～70
- 春 日 菜穂美 身体症状を用いたフォーカシングの臨床適用（第9号）57～66
蛇のイメージの変化と女性性確立のプロセス
－箱庭、描画、夢のフォーカシングを用いた事例－（第13号）123～132
象徴化の様式の視点からみたフォーカシング・プロセス（第14号）103～112
女子大学生における「絵本表現法」のアイデンティティ確立に及ぼす効果（第22号）149～158
- 春日 菜穂美・春日 作太郎 イメージ表出を伴うフォーカシング・プロセス－イメージ化推進の2つの型－（第12号）129～140

- 加 藤 久美子 Romeo and Julietにおけるアイロニーの構造と機能（第10号） 7～18
 "Nothing"に翻弄される悲劇－『リア王』編－（第12号） 71～78
 アイロニカル・エコ－悲劇『マクベス』の構造－（第13号） 47～56
 『ヘンリー五世』におけるChorusの機能（第15号） 105～114
 王としての王，私人としての王－『ヘンリー五世』研究－（第16号） 29～38
- 加 藤 千代司 岩手県における現代社会の変動に対処する「これからの家庭教育」に関する
 基礎的調査研究（其の2）（第1号） 69～106
 子ども理解への試論（1）－J．ケイガンのUnderstanding Childrenの一考察（第3号） 33～44
 子ども理解への試論（2）－J．ケイガンのUnderstanding Childrenの一考察（第4号） 33～40
 子ども理解への試論（3）－J．ケイガンのUnderstanding Childrenの一考察（第6号） 97～104
- 門 屋 光 昭 宮沢賢治と隠し念仏（第13号） 149～164
 源 実朝の聖徳太子信仰－二妹の聖徳太子像をめぐって－（第14号） 13～24
 親鸞の聖徳太子信仰（第15号） 11～26
 東国の太子信仰研究序説－岩手のまいるの仏と会津の太子守宗を中心として－（第20号） 19～34
- 河 原 伸 一 コーカサス三国の外交政策決定要因の分析（第20号） 9～18
- 菅 野 幸 宏 保存獲得訓練のための言語的規則指示法に関する一実験的研究（第1号） 133～146
 量の比較における言語表現と保存水準との発達の関連（第3号） 95～104
- 菊 池 芳 樹 地域人口学ノート－岩手県における人口移動の分析－（第2号） 143～
 地域人口学ノート－岩手県における死亡力水準の分析－（第3号） 121～132
 出生力の地域差に関する研究（第4号） 139～
 生命表の研究（第5号） 79～92
 人口高齢化の研究（第6号） 25～36
 地域人口の将来推計に関する研究（第7号） 109～122
 明治後期の日本の人口とその分布（第8号） 85～96
 大正期の人口動態統計に関する研究（第9号） 121～128
 都市化と出生率の格差に関する研究（第10号） 147～156
 岩手県の人口減少（第11号） 105～112
 カナダの人口分析（第12号） 141～150
 北海道開拓移民の研究－伊達士族移住と定着－（第13号） 139～148
 高齢者の健康と生活（第14号） 35～44
 日本・ドイツ・イタリアの少子化の動向（第17号） 11～26
 将来人口推計の評価－岩手県における推計人口と実際人口の比較－（第20号） 1～8
- 北 本 和 子 教育実習成績評価についての一考察（第4号） 81～94
 教育実習における学生の実態について－言語指導を観点として－（第5号） 29～38
- 木 村 吉 彦 ベスタロッチャーにおける人間観と「困窮」とのかかわり
 －『探究』の三状態論を手がかりとして－（第3号） 45～56
 ルソーとベスタロッチャーの思想的つながりをめぐって（その1）
 －『エミール』と『探究』との比較から（第5号） 1～14
 ルソーにおける教育目的論の一考察（I）（第7号） 45～56
- 金田一 芳 美 安全教育学的見地から幼児の事故に対する若干の考察 第一報（第1号） 123～132

- 久 武 慶 蔵 Accommodation of the Permeability in Mg-Cu Ferrites (第1号) 161~
Calculation of Ferromagnetic Resonance Condition Extended to Several Types of Substances with Anisotropy (1) Formulation of Resonance Equations (第2号) 103~114
Calculation of Ferromagnetic Resonance Condition Extended to Several Types of Substances with Anisotropy, (2) Application of the Developed Theory (第3号) 85~94
Paramagnetic Mössbauer Study of Fe (IV) Ions in Garnet System (第4号) 113~116
- 熊 谷 常 正 持川遺跡とその周辺-和賀川流域の「神子柴・長者久保文化」の石器群- (第22号) 1~16
- 桑 原 俊 明 催眠性挿話「食蓮人たち」-『ユリシーズ』第5挿話論- (第11号) 1~10
ステイーヴンの存在と時間-『ユリシーズ』第3挿話論- (第12号) 31~40
ジョイスのいたましい短篇-『ダブリン市民』の「いたましい事故」について- (第13号) 27~36
ブレイクの『天国と地獄の結婚』について-善悪の彼岸に到る道- (第14号) 69~76
イエイツ『鷹の井』について-西洋と東洋の霊性のはざま- (第15号) 115~124
「ドライ・サルヴェイジズ」第3楽章の意味-『四つの四重奏』とクリシュナー- (第16号) 39~50
『ユリシーズ』「ハデス」論-ブルームの黄泉下りについて- (第18号) 87~94
『ユリシーズ』の魅力を説く-アイルランド的性質の考察- (第19号) 9~20
Fantasy World of Gerty and Bloom in Joyce's "Nausicaa":
"What Is the Meaning of That Other World?" (第22号) 83~94
- 原 納 加寿子 someとmanyの内在的意味特性についての一考察 (第1号) 29~34
- 河 野 道 弥 実践的「時事英語」論。(第4号) 95~112
- 小 林 みゆき J. S. Bachのピアノ演奏指導法について-パイプオルガン演奏法との比較に基づいて- (第11号) 67~80
J. S. Bachのピアノ演奏指導法について-
-パイプオルガン演奏法との比較に基づいて(その2)- (第13号) 99~110
W. A. Mozartのオルガン音楽-オルガン音楽の歴史からの一考察- (第15号) 191~202
J. G. Rheinbergerのオルガン音楽-Max Regerとの比較に基づいて(その2)- (第22号) 171~
- 近 藤 健 史 天平万葉史の一問題-新様式の発生とその基盤- (第7号) 196~209
- 【さ】
- 斎 藤 成 夫 欲望としてのロマン派小説-E. T. A.ホフマンの『スキュデリー嬢』- (第22号) 63~68
- 齋藤 正典・大山 沙織
幼稚園生活における幼児の自己発揮と幼児のかかわり (第21号) 65~89
- 佐々木 健 夫 鑑賞教育の構造と課題 (第9号) 67~76
図画工作科教育に於ける教員の資質に関する一考察 (第11号) 57~66
- 佐々木健夫・宮崎 敏明
多コンセプト表現による教授ストラテジー (第13号) 111~122
- 佐々木 健夫・宮崎 敏明
造形的個性における評価の不安定性 (第16号) 77~88

- 佐藤 康 司 幾何問題の解決過程の研究（１）
－方略的知識に関する研究の検討と仮説的方略の設定－（第20号）59～
- 佐藤 康司・荒井 龍弥
推論におよぼす形式と意味の効果（第10号）79～88
- James Gurley Structure a n d Style in Walt Whitman's "Miracles"（第13号）19～26
Quentin Compson and Little Sister Death（第14号）63～68
The Best Generation : Travelers on a Sad and Lonely Road（第15号）67～78
FIGURES OF THE ACTIVE SOUL :
Structures and Images of Transform in Four Poems by Coleridge（第18号）39～58
- Jeffrey Herrick The Poetry of John Cowper Powys（第５号）145～156
Indeterminacy in H. D.'s Trilogy（第10号）19～32
- 島 岡 ま な フランスにおける法人の刑事責任
－具体的適用に関する通達・最近の判例等を中心として－（第18号）29～38
- 清 水 一 雄 Hemingwayの手法－心理の表現－（第１号）19～28
Ernest Hemingway年譜（1899年～1917年）（第２号）11～20
Ernest Hemingwayの手法－行動描写－（第３号）17～26
Ernest Hemingwayとその両親（第６号）75～86
Ernest Hemingwayと暴力－スポーツを巡って－（第７号）17～26
- Susan C. Unher The Cloze Procedure as a Test of ESL Proficiency（第18号）95～104
A Student-Centered Approach to Foreign Language Teaching（第15号）79～92
- スーザン・Ｃ．アンハー・マイケル・Ｃ．フォス
Ultrasound－A Visual Representation of Articulation（第12号）41～46
- 鈴 木 富 生 A. E. Housman : Last PoemsのXXIV（第24詩）（第１号）9～18
A. E. Housman : Last PoemsのXXV（第25詩）（第２号）1～10
A Shropshire LadのXXIII（第23詩）（第３号）9～16
A Shropshire LadのXXXI（第31詩）（第４号）1～8
A. E. Housman : Last PoemsのIX（第９詩）（第５号）137～144
A. E. Housman : More Poems XXXVI（第36詩）（第６号）63～66
A Shropshire LadのXXXV（第25詩）（第７号）1～6
A Shropshire LadのXXXIX（第39詩）（第８号）1～6
A Shropshire LadのL（第50詩）（第９号）1～6
A Shropshire LadのXLII（第42詩）（第10号）1～6
- 関 口 早 苗 日本語教育の中の個人授業－学習者と創り上げる授業を目指して－（第14号）133～142
学習者と向い合うことから始める－自己研修を通して教師の役割を考える－（第15号）229～
教室と地域をつなぐ学習者－学習者が生きる教室への取り組み－（第16号）89～96
日本語指導実践研究－その問題点と今後の課題－（第12号）203～230
- 高 城 靖 尚 東北地区大学ラグビーリーグにおけるゲーム分析（第１報）（第12号）179～190
運動が身体に及ぼす影響（第13号）171～182
ラグビーフットボールにおけるディフェンスとアタックの基本（第22号）17～40

【た】

- 高橋 富雄 古代遠流歴史の復元的考証－埋もれた歴史言語の世界－（第14号）1～12
- 高橋 瑞枝 Flags in the Dust and Sartoris : A Study of Textual Differences（第1号）43～54
Faulknerの“The Bear”：狩猟部と第四部（第2号）31～42
William Faulkner：未完の小説“Elmer”考（第4号）23～32
- 高橋 幸雄 Prolegomena to a Theory of Lexical and Syntactic Knowledge（第21号）37～50
On the Notion of Full Interpretation in Phonology（第22号）109～122
- 武田 正司 「体力」と「運動能力」の関係性の変遷
－官製「体力（運動能力）テスト」を中心にして－（第21号）27～36
児童における体力と運動有能感との関係（第22号）41～48
高校剣道部の競技水準と人間形成志向（第9号）143～150
- 田野 秀康 「吹奏楽の熟成」に関する一考察（第6号）141～
宮城道雄作「春の海」をめぐって（第7号）81～90
フルートのための日課練習（第13号）69～98
- 千葉 智行 バレーボールゲームにおけるサーブの効果
－東北バレーボール大学リーグ戦における試合分析－（第18号）23～28
岩手県内におけるレクリエーションスポーツの実態
－ソフトボールの取り組みについて その1－（第21号）17～26
- Charles Aschmann Premonition of the Greenhouse :
A Link Between Roethke's Open House and the Greenhouse Poems（第1号）35～42
Serenity and The Pathway Through Grief, Bly's Light（第2号）21～30
A Hero, a Statue and Some Poets : Berryman, Lowell and the Shaw Tradition（第3号）27～32
A Final Triumph : W. H. Auden's Thank you fog（第4号）17～22
- 土屋 章 戦後教育の目的（目標）・内容・方法～英語教育方法考察序～（第15号）203～218
学校の組織風土（1）－学校経営概念再検討から教育経営概念へ－（第17号）79～90
学校組織の風土（二）－学校組織の特性とその調整－（第18号）105～120
情報・知識社会の学校教育（第20号）35～46
教育経営概念の成立過程（第21号）51～64
- 照井 悦幸 ジュネーブから日本へ、インターナショナルとナショナル
－新渡戸稲造の悲劇性－（第11号）95～104
マハバーラダ：行為とその結末 ビシマとカルナ（第12号）191～202
日本語教師（第13号）183～194
日本語教師 2（第14号）123～132
日本語教師 3－見えないものを見る能力，文化人類学の分野から－（第15号）219～228
異文化における適応としての語学教育－経験学習（Expermental Model）（第17号）91～100
文化運搬者としての新渡戸稲造－2つの『武士道』－（第21号）11～16
文化運搬者としての新渡戸稲造（2）－「考」をめぐって－（第22号）131～138
- 土井 六郎 引用文献調査による教育心理学分野の文献利用の特色（第9号）151～156
引用文献調査による教育心理学分野の研究業績の評価（第10号）181～191
実験系研究者の学術情報の生産と発表メディア（第11号）139～146
「現代の図書館」の記事に付与されているキーワードの調査と分析（第13号）201～221

富田 光明 レイミアは毒婦なのだろうかーキーツの物語詩Lamiaを読んでー（第7号）135～144
キーツと八木重吉ーしづけさの世界ー（第5号）113～122

【な】

長 沢 美 穂 遠野のわらべ唄と人々の生活ー阿部ヤエさんのうたう唄からー（第5号）39～46
Restructuring Our Schools :
A Comparison of Early Elementary Reforms in the U. S. and Japan（第12号）117～128

中 村 克 明 「図書館の自由」に関する検討 2（第15号）145～154
「自由宣言」と知る自由（第16号）119～141
知的自由概念の検討（第17号）101～119

奈 良 昂 英語学力測定の問題と課題ー1997年度基礎力テスト結果分析からー（第17号）33～44

奈良 昂・日景 敏夫
基礎力テストにおける誤答分析（第12号）1～20

西 俊 六 新しい時代の学校づくりに関する一考察（第21号）90～
橋本 雄司・市原 常明・武田 正司・高城 靖尚・千葉 智行・日陰 千賀子
盛岡大学学生の身体・体力測定結果について（その1）（第11号）113～138

【は】

日 景 敏 雄 “HAND” の認知意味論（第14号）77～84
A Study of the Differences between Sentence Meanings and Utterance Meanings :
From the Viewpoint of Cognitive Semantics（第22号）95～108
A Cognitive Semantic Analysis of Japanese Up-Down Motion Verbs（第18号）59～74

日 暮 雅 夫 ホネットにおける討議倫理学の変革ーハーバーマスを越えてー（第15号）1～10
フランクフルト学派における討議理論の展開
ーハーバーマスとホネットを中心にー（第18号）13～22
ハーバーマスのコミュニケーション的行為論の基本構造
ー討議理論における形式用語論的アプローチー（第21号）1～10
ハーバーマスにおける討議倫理学の基本構想（第22号）49～62

舟 越 芳 男 日本の四季と文学と（第7号）210～
現代口語表現御種々相ー民話の方言言語にもふれてー（第8号）140～

星 野 富 一 資本主義的人口法則と生活水準ーその学説史的考察ー（第3号）105～120
発券の根拠と限界（1）（第7号）123～134
発券の根拠と限界（2）（第8号）97～110
発券の根拠と限界（3）（第9号）129～142
発券の根拠と限界（4）（第10号）157～170

細 川 和 子 過去6ヵ年間（昭和50～55）における岩手県下の自殺率についての疫学的考察（第2号）43～52

【ま】

正 印 真 之 ナータンの悦びと苦悩ーその行為ー（第2号）115～130
『エルンストとファルク、フリーメイソンのための対話』
ー奥義をめぐるための思索（第4号）117～138

- 丸 山 久美子 日本人の態度基底構造に関する研究 -その死生観を探る- (第2号) 67~78
 個人主義の倫理 (第4号) 65~72
 米国大学生の死生観の構造 (第5号) 61~78
 BioethicsThanatologyに関する心理学的考察 (第7号) 101~108
- 丸山 久美子・林 文 青年の死生観に関する比較研究 (1) (第6号) 15~24
- 丸 山 茂 追説-江戸小説・春水人情本と『源氏物語』
 -未翻刻資料『和可邑咲』を中心として- (第10号) 192~
 日本近代小説の出発-江戸小説「春水人情本」からの展開を視点として- (第11号) 174~
 正岡子規と小説-江戸小説「人情本」との関連に及ぶ- (第12号) 254~
 『奥の細道』における擬人表現の展開-その作品形成上に持つ意味と働き- (第13号) 222~
 『奥の細道』の主題 (第14号) 190~
 芭蕉の風雅観と俳諧理念-「許六離別詞」から「奥の細道」への遡及における- (第16号) 142~
- 宮 崎 正 蔵 Mass Spectrometric Study on the Reaction of N Atom with $(\text{CH}_3)_2\text{CO}$ (第2号) 89~102
 1. Studies on the Kinetics of Nitrogen Afterglow :
 2. Studies on the Reactions of N atoms with HI (第3号) 65~84
 "1. Studies on the Reactions of N atoms with CH_3Cl 41~52
 2. Studies on the Reactions of N atoms with CH_4 " (第4号) 53~64
 Studies on the Reactions of C_2H_4 and C_2H_2 with N atoms (第5号) 123~136
- 宮 本 恵 光 Stephen Hero (第6号) 67~74
 "Chamber Music" by James Joyce :
 Reading the poetry as an early manifestation of Joyce's inner literature (第9号) 19~34
 ジョイス、フロベールと芭蕉-没個性の芸術と無意の芸術- (第10号) 49~54
 エマソンと良寛における自然 (第13号) 1~8
 Emerson's poems and the Bhagavad Gita (第14号) 51~62
- 【や】
- 柳 沢 文 昭 笑い、《転落》そして叫び (第1号) 147~160
 《ベスト》とジャン・タルー (第2号) 131~142
 アルベール・カミュの小説世界の変貌-素描 (第3号) 133~
 アルベール・カミュの芸術理論の形成 (第5号) 103~112
 ムルソーの不幸の瞬間 (第7号) 145~152
 「追放と王国」試論 (1) (第8号) 65~74
 「追放と王国」試論 (II) (第9号) 99~108
 「追放と王国」試論 (I I I) (第10号) 135~146
 「アメリカ大学版序文」からみた「異邦人」 (第11号) 89~94
 ムルソーと《眠り》 (第12号) 163~170
 岸辺の心象-「転落」試論 (第14号) 25~34
- 山 崎 孝 雄 本学学生の見た国語教師像-国語指導の原点を探る- (第14号) 173~189
- 山 崎 武 彦 ロールシャッハ・テストからみた神経性食思不振症者の心的特性
 -うつ病者との比較を中心に- (第10号) 69~78
 青年期の不安と特徴について-その要因と変化を中心に- (第12号) 95~102
 不安とうつの関係について (第17号) 71~78

集団ロールシャッハテストにおけるよくうつの特徴（第19号）35～53
青年期の不安の変化－12年前との比較を通して－（第22号）139～148

湯 沢 康 晴 夢の変遷－20世紀の子ども史（1）－（第22号）159～170

横 沢 京 子 Faulkner's Women（第10号）33～48
Light in August Lenaに於けるGrove像（第13号）9～18
An Interpretation of John Steinbeck's The Pearl（第15号）53～66

横 沢 四 郎 Nathaniel HawthorneとSeptimius Felton（第1号）1～8
Hawthorneの孤独感とその作品（第3号）1～8

横 山 多津枝 「スイス兵」のルーツ－『ハムレット』研究－（第11号）81～88
「病」は癒されるのか－『ハムレット』研究－（第12号）171～178
『ハムレット』に於ける旅の概念（第13号）165～170
シェイクスピア，ワイン考－『ハムレット』の場合（第14号）45～50
シェイクスピア，ワイン考 2－酒に酔えない男，マクベス－（第15号）47～52

TatsueYokoyama・Kumiko Kato
Syllabus Design : Teaching English for the Students of the Childhood Education Department in
Morioka College（第19号）1～8

横山 多津枝・加藤 久美子
小学校における外国語（英語）の導入に関しての一考察
－教員養成の立場から－（第17号）27～32

【ら】

リン・ペナー Second Language Learning and Teaching（第11号）11～14

【わ】

渡 部 英 喜 陶淵明故里についての一考察
－「飲酒 其五」詩中の詩語を一つの手懸かりにして－（第17号）120～
李白「黄鶴楼送孟浩然之広陵」詩考－その解釈をめぐって－（第19号）54～